

申請の方法と流れ

必要書類

- 採用された本人から事業所に提出する「委任状」に、コロナの影響による離職である旨を記載
- 事業所から市へ提出する「申請書」「口座指定書」
- 「現職の雇用契約書」等
- 令和2年1月以降の退職日が分かる「雇用保険受給資格者証」や「退職証明書等の写し」「雇用契約書等の写し」

	① 就職祝い金	② 定着一時金
支給額	1万円	10万円
対象 <small>いずれにも該当すること</small>	令和2年12月1日から令和3年3月末までに新たに福祉サービス事業所へ介護職員として採用された方であること	令和2年6月1日から令和3年3月末までに新たに福祉サービス事業所へ介護職員として採用され6カ月間以上在職された方であること
	令和2年1月1日以降に新型コロナウイルス感染症による影響で退職（前職の職業及び退職理由の自己都合、会社・法人都合は問わない）	
	申請日時点で在職している、正規職員又はフルタイム勤務の介護職員である	
	過去に本事業の同じ支援金を受けていない	
申請締切	令和3年4月30日 必着	令和3年10月31日 必着

対象施設とは 神戸市内所在の指定介護事業所・指定障害福祉サービス事業所

介護職員とは 主たる業務として「直接介護を行う従事者」（看護職員、事務職員その他は本制度の対象外）

申請方法

就職祝い金・定着一時金は、採用された事業所を通じて申請いただきます

(1) 委任状(採用者本人)と申請書 兼 請求書(事業所)の様式を神戸市WEBサイト「神戸ケアネット」より入手

(2) 採用者が事業所へ委任状を提出
事業所が申請書 兼 請求書を市へ提出

(3) 申請書 兼 請求書に基づき、市より事業所へ支払い

(4) 各事業所において給与等とあわせて支給

→ 祝い金を支給した方については、6か月後に改めて「定着一時金」を申請

福祉施設では 感染防止対策を 徹底しています

換気や消毒、手洗いの徹底などの基本的な対策に加え、オンラインでの面会を活用するなど、徹底した感染防止対策が図られています



詳細な条件、様式や実施要綱等は、神戸市WEBサイトに掲載しています。

神戸ケアネット

検索

お問い合わせ先

神戸市福祉局 介護保険課
神戸市中央区加納町6-5-1

TEL **078-322-6228** 平日9:00
~17:00

神戸市の福祉応援プロジェクト コウベ de カイゴ

あたらしい 「介護で働く」を 神戸のまちで

就職祝い金 : 1万円
定着一時金 : 10万円

コロナの影響で離職された方の
介護職への就職を応援します。

ひとに寄り添い、ひとと向き合う 介護職を応援します。

新しい介護職の働き方や働く環境づくりを神戸市は応援します。
 神戸市内の介護・障害者支援施設への皆さまの就職をお待ちしております。

コウベdeカイゴの内容



1
 コロナの影響により
 離職した方の
 新規就職を応援します

コロナの影響で
 離職された方の介護職への
 就職を応援します。

介護業界への就職に就職祝い
 金や定着一時金を支給します。
 (詳細は裏面)

- ① 就職祝い金 **1万円**
- ② 定着一時金 **10万円**



2
 新規就職された方の
 生活を応援します

強力なキャリアアップ支援
 神戸市独自の資格・国家資格
 (介護福祉士)の取得に向けた
 補助(10,000円/月)などキャリア
 アップを支援!

住宅手当補助
 新規採用時の住宅手当補助
 (14,000円/月)制度により支援!



3
 介護職の魅力を
 向上・発信します

テクノロジーが現場を変える
 介護施設の個室を見守るセン
 サーなど、先進技術の導入を積
 極的に進めています。



介護の仕事はいろいろ

施設介護職員

介護施設などで、高齢者の身の回りのお世話をする仕事。介護以外にも、施設のイベントの運営や雑務も行います。入居施設では、夜勤もあります。デイサービス(通所系サービス)は日中だけの勤務になります。

- 1日のスケジュール(高齢者入所施設の例)
- 9:00 出勤/引き継ぎ
 - ↓
 - 9:30 入浴や食事の介助など
 - ↓
 - 11:30 昼食休憩
 - ↓
 - 12:30 レクリエーションや機能訓練、事務処理など
 - ↓
 - 16:30 夕食介助、就寝準備の介助、申し送り
 - ↓
 - 18:00 帰宅

VOICE

他業種から介護職へ

製造業から転職

利用者とともに成長できる仕事



Fさん 障害者支援施設
 40代男性

身近な人が交通事故で高次脳機能障害になったことがきっかけで障害者支援の世界を知りました。長く続けてきた製造業はものに向き合う仕事でしたが、思い切って人と向き合う仕事へ転職を決意しました。

転職当初は、どのように対応したらよいのか戸惑うことがありましたが、先輩や同僚にめぐまれ、利用者さんとともに成長できる仕事であると実感しています。

10代の利用者さんの就労支援で、就職説明会や職場実習に同行したりする中で、就職が決まったときの喜びはひとしおでした。人と接する仕事の醍醐味を感じています。

事務職から転職

人生の先輩から日々学ぶ仕事



Nさん 介護保険施設
 40代女性

将来的にも社会から必要とされる仕事ということで、長く続けた事務職を辞めて老人介護施設の介護職に就きました。いずれ必要となる両親の介護にも介護職の経験は役立つと考えての決断でした。

利用者さんの人生をお預かりする仕事として、人との関わりが少なかった事務職のときには体験しなかった責任の重さを感じています。関わるお一人おひとりが人生の先輩で、自分の家族のように向き合うなかで多くのことを学んでいます。楽しいこと、明るいことばかりではありませんが、利用者の方の笑顔や言葉に大きく支えられている毎日です。